

JAAC だより

留学生に求められる人間力とは（2）

～ 大学生活（留学生活）は“人間力”を養う場でもあります ～

先月号では、留学生であるが故に必然的に陥ることになる日本語能力の低下や、ともすれば希薄な一般社会との関わり方といった、留学生が現地で置かれている状況についてお話をしてきました。今月号では、留学生一人ひとりが大学生のうちに高めておきたい資質についてお話をしたいと思います。これらは、日本の大学生でも、アメリカにいる留学生にとっても、社会に出る前に身につけておくことが望ましい共通の事柄のように思います。

3. 正しい批評と批判ができる力を養う： ここで言う『批評と批判』とは、単に他人を批判したり、物事の好き嫌いといった個人的な嗜好や感情によって評されることとは違います。重要な大学教育の一つに、先人達によって体系化された理論や学説を学びながら、それらについての検証と議論を重ねることにより『批評と批判』を行い、やがては新しい理論と学説を生み出していく、ということがあります。そのプロセス（過程）における『批評と批判』という行為は、理性的な姿勢を崩さずに、物事に対する客観的な見方を基調として、真理の探究を目的として実践するものです。つまりそれは、様々な角度から物事を見つめてみることの大切さと必要性を学んでいるのです。その結果として、『私は・～を、・・・とは思わず、・・・であると思う』というように、何らかの意味のある根拠に基づいて自分自身の考え方を表現する力を養うことが大切なのです。その自分自身の考えと意見そのものが、ある物事に対する『批評と批判』になるのです。したがって、ここで言う『正しい批評と批判ができる力』とは、自分自身の考えと意見を導き出すための最良のプロセス（過程）と方法を考え出す能力、と言い換えることができるでしょう。言うなればそれは、『物事を正しく見極める力を養う』と言うことになるでしょう。これから社会に出ていく学生諸君は数々の困難な状況に立たされ、様々な問題に直面することでしょう。その度ごとに、自分が置かれている状況を見極めて問題の解決に当たり、難しい状況を打開していく方法を模索しなければなりません。その時こそ、自分が置かれている局面を好天させるための最良にして最善のプロセス（過程）と方法を考え出さなくてはならないのです。

4. 創造力と想像力を身につける： 『創造力』と『想像力』というこの2つの同音異義語は、文字通り異なる意味を持つことばであります。これらには非常に深い関連性があります。某大学のキャリアセンターの方が、この2つの資質は『今の学生に欠けていることの一つです』と、思案げに呟いていたのが印象的でした。一例ですが、今の世の中には生活に必要なものは何でも揃っていて、しかも多種多様な物が溢れていますね。まるで、「この世の中に無いものは無い・・・」とでも言わんばかりです。だからこそ、時代の流れに沿って新たに必要と思われる事物を創造していく力が必要とされるのです。そして、何を『創造』していけば良いのかを考える際に、移り行く世の中のあり方や人類の行く末などを『想像』していく必要があるのです。『想像』から『創造』へ、また、『創造』から『想像』へと、これら2つのことばは互いに関連し合っています。『創造』とは何も物だけに限ったことではありません。これからの世の中に必要と思われる万物を指していると思います。親御さんや私が子供のころは、携帯電話やパソコン、インターネットと言ったものはありませんでした。しかし、それらを『想像』することはできました。当時は単なる想像物であったものが、技術の発達によって、今の世の中には現実の物として存在しています。それは当時、『想像』していた物を『創造』しようとする試みと、その必要性があったからではないでしょうか。一つの例ですが、世界的に見れば、人類が一丸となって考えていかななくてはならないことの一つに環境問題がありますね。CO₂（二酸化炭素）排出問題の解決は地球を守ることに於いて最重要課題と言えましょう。これから世界はどのように変わっていくのでしょうか。この地球に暮らす人類の生活はどのように変わっていくのでしょうか。これらを『想像』した時、我々は何を『創造』していかなければならないのかを考えていきたいものです。

5. リーダーシップの発揮と協調性との両立： リーダーシップとは安易に人々を先導したり、また、他の人々の意見を無視して独裁的に走ることは異なります。それ故に、リーダーシップのとり方は難しいとされています。しかしながら、最も懸念することは、積極的、且つ、率先的に自らが他人をリードして行こうとするマインド（気持ち）と意識の低下だと言われています。某大手商社の人事課の方は、『人の先頭に立ち、人心を掴んで統率する資質と能力を持ち合わせている人が少なくなった』というお話をされていました。更に同氏は、『リーダーとなることの意味をはき違え、他人との協調性を欠く傾向も多いんです』とつけ加えられていました。協調性に富み過ぎれば、優柔不断にも成りかねません。そうかと言って、他人の意見や考えを無視したやり方で人々を統率しようとするれば、独裁的となり他人から反感を買うこととなりますね。大切なことは、リーダーとして如何に人々からの信頼を得るか、そして、人々の心をつなぐための“リーダーシップ”と“協調性”との絶妙なバランス感覚を養うことだと思えます。

（次号に続く： カリフォルニア担当 照井）

コラム：後輩に伝えたいにんなこと、あんなこと（第6回）

（JAAC 第6期生 マリオ・マツカタ）

長い休暇にも飽きてそろそろ勉強したいなど思っている皆さんもいるのではないのでしょうか？ さあ、いよいよ新学期開始です！ さて、今回は新学期の開始時期にふさわしい話題をお話しましょう。それは「学校のクラブ、サークル活動への参加のススメ」についてです。これは私の実体験から来るものですが、私の現在持っている英語力、アメリカ文化の理解力、そしてグローバルな視野は大学留学時代に、あるクラブ活動のメンバーになって急速な勢いで養うことが出来たと思います。学期の始めほどこの大学内クラブも新メンバーを募集しています。この機会に情報を得てクラブに参加をしてみてもどうでしょうか？

私は「留学生会」と「フラタニティー」の2つの大学公認グループに所属していました。留学生会は留学生同士の集まりでしたので、自分の英語力に自信がなかった当時でも片言の英語で笑ってさえいけば仲間にもしてもらえ、とても気軽なグループでした。いろいろな国からのメンバーは60人近くいて、他国の文化や考え方にとても刺激を受けました。週1回のミーティングがあり、留学生フェアの打ち合わせや、留学生ハローウィンパーティーの企画などの打ち合わせなどの準備をしたことを思い出します。大学生になってから、留学生の活動域を超えたいと思いフラタニティーに入りました。フラタニティーを知っている人は「あのパーティーグループか」と思うかもしれませんが、パーティーで騒いでいるのは表の部分だけで、組織としてグループ、大学、地元コミュニティ等、様々な分野で組織の運営、行事やチャリティーの企画、自己啓発セミナー参加などが中心です。組織内ではリーダーシップ能力やディベート能力を要求されました。私以外は全員アメリカ人学生でしたので、英語を使った上で組織の運営、そして、リーダーシップをとることはとてもチャレンジングでした。メンバー同士は「ブラザー」と呼ばれ、1つの大きな家「ハウス」で大学生活を過ごし、その結束力は強く20年たった今でもブラザー同士交流が続いています。様々なものを組織で創りあげ、一緒に力を合わせて意見をぶつけ合ったり、達成感に涙したりしたブラザー達との楽しい思い出はいまでも忘れません。

より充実した留学生生活を望むなら、大学内にはたくさんの大学公認クラブ活動がありますので、勇気を出して参加することをお勧めします。そこから得ることはこの先の人生で必ず役に立ちます！ 今学期も勉強、スポーツ、そしてクラブ活動にがんばりましょう！

カリフォルニア通信

（カリフォルニア担当：照井）

【同性結婚禁止は違憲】 ついにカリフォルニア州では、同性結婚禁止を違憲とするカリフォルニア州最高裁判所の判決を受けて、今年の6月から同性婚カップルに結婚証明書の発行を開始しました。ちなみに、同性婚を合法化したのは東部のマサチューセッツ州に続いて全米で2州目です。カリフォルニア州内の58郡では一斉に同性結婚証明書の発行が始まり、各郡の書記官事務所には多くの同性婚カップルが列を作って証明書の発行を申請しました。同証明書の発行第1号は、サンフランシスコ在住の87歳と84歳の女性カップルだそうです（驚）。サンフランシスコは革新的(?)な場所でもありますが、同市のスポークスマンによると、結婚証明書発行の予約は3ヶ月以上先まで一杯で、予約件数は既に2,300組以上に達しているそうです。

一方、同性婚反対論者たちによる抗議行動も同時に行われており、同州憲法の改正に向けた住民投票請求のための署名を集めて同州に提出しました。今年の11月に住民投票の有無が決まるそうです。

【日本人駐在員のお子さん達の夏休みは塾通い】 南カリフォルニアには500社以上の日系企業があり、その駐在員の方々のお子さん達の夏休みは学習塾通いのようです。小1から高2までの全教科補習授業を提供している塾もあります。日本に帰国してからの勉強の遅れを見越しての夏期講習会は“満員御礼”の様子です。せつかくの夏休みですが、日本の受験を考えればこれも仕方ありませんね。毎日暑い日が続くけど、皆さん頑張ってくださいね！！

ミズーリ通信

（ミズーリ担当：ライマン・ピットマン）

【もっと注意を払って・・・！】 長年に渡って私が直面する問題とは、学生自らの不注意から、後にその学生に問題が起きてしまうことです。学生に対する大学からの案内書や通知書は何らかの書面やe-mailで送付されます。ほとんどの学生は学寮やアパートの郵便受けをこまめにチェックしますが、中にはしない学生もいます。大学からの請求書に気づかずに、大学からの注意を受ける学生が、毎年、必ず一人はいるものです。2回目、3回目の通知書には『至急』の文字が書かれています。1ヶ月も経った後に、『これって大事なものですか・・・？』と、私の所に持ってきます。もっと良くある問題はe-mail連絡を見ていないことです。大学から学生への連絡はe-mailによるものが増えていきます。例えば、留学生センターから留学生宛には定期的な案内や学生ビザに関する情報が送られますが、時にはこれらの案内を学生が無視してしまうのです。一般的な大学案内については大学のカタログに、授業スケジュールや授業料納入についてはパンフレットに記されています。授業料の支払い期日なども同様です。何故、学生がこういった案内書に注意を払わないかは容易に理解できます。それは、案内が英語で書かれていて、読むのに手間がかかるからなのでしょう。英語の宿題が終わった後に、更にまた英語で何かを読むということは決して楽しいことではないですね。でも、後で問題が起きないようにするためにも、その時に少し余計に『英語の勉強 - 案内書を読んでおくこと』をしておくことは、とても大事なことなんですよ。

一期一会 私の家内の実家は長野県の白馬で民宿を営んでいます。大正9年に建てられた茅葺屋根（かやぶきやね）の総2階建て農家で、室内にある囲炉裏は今でも日常的に使われています。現在では大変貴重なものとなり、お客さんの多くはこれらを目当てに訪れるのです。先だって、退院した義父を見舞いに行った時のことです。その日、当民宿の宿泊客は1組で男性2人。『昨年の冬には予約が一杯で泊まれなかったのに、今年は夏に来ました』との事。民宿ですから、食事は私の義母

の作る農家の家庭料理です。酒の肴（さかな）はもっぱら義父の昔話。私も食事の仕度を手伝い、“民宿の若旦那”を勤めてきました。囲炉裏の横に座り5人で摂る夕食。初対面の人たちと同じ食卓を囲み、呑むほどに話は弾み、食事を終えるころにはまるで旧知の友でもあるかのように、言葉遣いまで変わってくるから不思議です。翌朝、義母が畑から取ってきた野菜をお土産に渡し、交わす別れの挨拶はまるで実家から帰って行く息子達と、それを見送る老齢の両親のようでした。（照井）

Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ 『秋』の到来です ～

autumn と fall

季節の秋を「autumn オータム」と言うと、どことなくイギリス英語が想い起こされませんか？ よく、イギリス文学や英語の詩などに出てきますね。確かに、イギリスでは「fall フォール」よりも、「autumn」が良く使われています。14世紀から16世紀ごろまでは「autumn」しか使われなかったそうです。もともと「autumn」はイギリスで8月～10月を意味するものでした。一方、「fall」は「落ちる」という本来の意味から、「落ち葉」を意味する「fall of the leaf フォール・オブ・ザ・リーフ」の「～ of the leaf」が省略されて、『秋（落ち葉の時期）』を表すことばとして「fall」が残されたそうです。16世紀以降からアメリカでは普段「fall」を使い、「autumn」は格式ばった時や文語体として使うようになりました。ちなみに、アメリカで「autumn」と言えば9月～11月を指すそうです。

Help Line

FAQ

「パスポートが新しくなり、ビザは古いパスポートにありますが」

A: パスポートを更新したのですね。そうすると留学（F-1）ビザは古い方のパスポートに添付されていると思います。有効期限が切れた古いパスポートも大事に保管して、更新した新しいパスポートと一緒に保管しておいてください。今後は、アメリカ以外の国に一時的に行く際は（日本への帰国も含みます）、これらの2つのパスポートが必要になりますので、注意して行動してください。新しいパスポートはパスポート本来の役目を果たしますが、まだ有効なビザは期限が切れたパスポートに添付されている状態です。この際ですから、ビザの有効期限も再度、確認しておいてください。次回、ビザを更新する際には、新しく更新したパスポートに新しいビザが添付されることとなります。次回のビザ更新の際には、新旧両方のパスポートが必要となりますので、ご注意ください。

【編集後記】 ●暦の上ではとうに秋なのに、まだまだ猛暑が続いている日本です。地球温暖化ということばが新聞やメディアで独り歩きしていた時代は完全に終わり、本当に人類一人ひとりがまじめに考えないととんでもないことが起こりそう▼日本に一時帰国しているJAAC生も、そろそろアメリカに戻る準備を始める時期ですね。休暇を楽しみ、美味しい物をたくさん食べ、家族の愛情を一杯、いっぱい感じたことと思います◆連日報道されるオリンピック日本人選手のメダル獲得。期待されていた選手はそれなりに、また、新たな期待の新人も出てきましたね。まだもう少し眠れない夜が続くそう★それにしても、アメリカという国は不思議な国。同性結婚がついに認められたのです。『自由の国 - アメリカ』は、どこまで自由なのか・・・？▲親御さんや私は戦後の生れですが、毎年8月15日を迎えると先の大戦のことを私なりに考えさせられます。我々には関係ない、とは言えない問題ではないでしょうか。私は伯父（私の母の実兄）2人を戦争で亡くしています。毎年、母は老いた身体で靖国神社への参拝に出かけます。少しずつ、確実に戦争体験者がこの日本から減っていきます。このままでいいのかな・・・？（照井）

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください★

■日本で夏休みを過ごされている皆さんへ： アメリカに戻る際に必要なI-20の裏には再入国用のサインがしてあります。パスポートやビザの有効期限をもう一度確認しておきましょう。

▲残暑に注意！！ - 水分補給を忘れずにして脱水症状を予防： アメリカでも本格的な夏の到来が告げられ、これから例年のように、日を追うごとに最高気温が上がっていくことでしょう。日中の暑さにより、頭痛、吐き気、目眩（めまい）、喉の痛みや喉の渇き、腹痛、下痢、目の痛み、関節痛、等々の自覚症状は熱射病による症状と考えられる場合があります。適度に十分な水分を補給するように心がけて、適切な予防処置をとるようにしてください。もし、このような症状が出た場合には、直ぐにカウンセラーに相談の上、お医者さんに診てもらうことを勧めます。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp